

# えんちょう通信

No.54

令和3年11月1日  
福島市立清水幼稚園  
発行者 佐藤 一男

## 人のかかわりが生まれるとき



寒い日が続きましたが、10月20日(水)、晴れ間が見えたので、いつも遊ばせてもらっている国登録有形文化財「佐藤家」の庭に散歩に出かけました。佐藤さんやしみずの里の職員の方がいつものように優しく迎えてくださいました。

みんなであいさつをすると、佐藤さんがさっそく飼っているミツバチの巣箱を見せくださって、採れたハチミツをひと瓶くださいました。そのあと、クルミの実を拾わせてもらいました。ビニール袋に10個も20個も拾って、子どもたちは大喜びです。

ベンチに座っていたおじいちゃんに話しかけて、庭で摘んだ黄色い花やきれいに色づいたイチョウの葉っぱをプレゼントしている子もいます。豊かな自然の中、やわらかな陽ざしに包まれて、そこに人がいると「かかわり」が自然に生まれます。そして優し

さや思いやりが育まれていきます。

日本は世界の中で最も高齢化が進んでいるといわれています。小さいうちから高齢者とかかわることはとても大事なことだと思います。

## こぐまの会の「ハロウィン運動会」

10月26日(火)、こぐまの会の「ハロウィン運動会」がありました。

最初に準備運動にダンス「かぼちゃチャチャ」を踊り、さっそく競技です。渡辺会長さんが5つの競技を考え、準備してくださいました。最初は、ハロウィンのお化けの絵にシールを貼る競技です。次は、かけっこ、そして玉入れです。幼稚園の運動会のようにリレーもやりました。最後は、ひもに下げたお土産の袋をとってゴールする競技で、終了です。子どもたちは、勝ち負けなど関係なく、バトンをもって走るだけで大喜びです。子どもが喜ぶと、それを見ている私たち大人も本当にうれしくなります。



子育てや教育には、「これが絶対に正しい」という方法があるわけではありません。誰もが「これでいいのかな……」と不安に思いながら子育てをしているのではないのでしょうか。

そんな時に、「ちょっと、これどういうことなの?」「どうしたらいいと思う?」などと相談できる人が周りにいたら、どんなに心強いでしょう。

ぜひ子育て中のお友達や知り合いの方に、清水幼稚園に「こんな子育てサークルがあるよ。」とお話してください。(問い合わせ: 清水こぐまの会 ☎557-3675)